

野菜の廃棄を減らせるように



(一社)家の光協会が開催している第15回食農教育紙芝居コンクールで、舟形勝手に盛り上げ隊「わ+」(代表 沼澤飛鳥さん)の作品「やさしいのはつびようかい」が佳作に入選しました。この作品は、規格外野菜をテーマに、形や色などの違いで廃棄される野菜を少しでも減らしたいという思いで制作されました。

このコンクールでは、子どもたちに「いのち」「食べ物」の大切さ、「農業」の素晴らしさを、伝えることを目的に紙芝居を募集しています。今年は268点の応募があり、全8点が入選しています。

災害復旧に活用を 企業版ふるさと納税



2月28日、株式会社メカニック(代表取締役 佐藤優さん)より、町のまち・ひと・しごと創生推進事業の「くらし・生命を守るまち事業(災害復旧事業)」に対し、企業版ふるさと納税としての寄付をいただきました。

株式会社メカニックは酒田市にある企業で、主な業務内容は水処理設備や農業水利設備、再生可能エネルギー事業などを手掛けています。令和6年7月の大雨災害での農業施設の復旧工事などを行なっています。いただいた寄付金は、災害復旧事業に活用させていただきます。

町総合発展計画(後期短期アクションプラン)答申書提出

2月25日、総合的で計画的な行政の運営を図るための長期的なまちづくりの指針となる舟形町総合発展計画の後期短期アクションプランの答申書が、策定委員会(委員長 星川基さん)より町に提出されました。この計画は、町議会3月定例会での議決を経て4月からスタートします。



地域のチカラで 犯罪や非行を防ぐ

3月14日、舟形町役場で最上地区保護司会第三分会役員会が開催されました。令和6年度の事業報告や令和7年度の事業計画、役員選出などを議事としました。また、第三分会を構成する舟形町と最上町、それぞれでの活動内容などについて意見交換を行い、有意義な会となりました。



町自衛隊入隊予定者 激励会



2月26日、町出身では3年ぶりに自衛隊に入隊する方を町、自衛隊、家族会が激励しました。

大きくなって 帰ってきてね



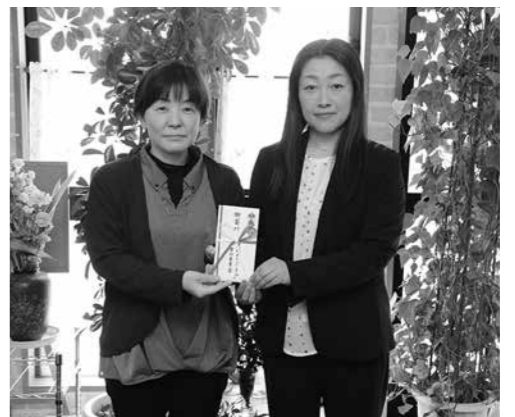
3月4日、小国川漁業協同組合で、ほほえみ保育園の園児たちは鮭の稚魚を放流体験しました。

輪投げで健康維持と 仲間づくりを



3月5日、生涯学習センターで舟形町老人クラブ連合会の輪投げ交流大会が行われました。

認知症になっても 安心して暮らせる町に



3月11日、映画「オレンジ・ランプ」舟形上映実行委員会(実行委員長 今田久美子さん)が、地域密着型福祉複合施設「ほなみ」に上映協力金を寄付しました。この上映協力金は、若年性アルツハイマー型認知症をテーマにした映画「オレンジ・ランプ」を令和6年11月に上映した際に得られた売上上で、認知症カフェなどの運営に活用してほしいという思いで「ほなみ」に寄付されました。

今田さんは、「認知症になっても本人の尊厳を大事にして、安心して暮らせる町になってほしい」と話していました。

東北農林専門職大学と 地域連携を推進



3月17日、舟形町役場で町と東北農林専門職大学地域連携推進委員会(委員長 黒瀬秀久教授)が地域活性化に向けた取り組みや課題などについて情報共有を図り、今後の円滑な連携に向けて意見交換会を行いました。意見交換会では、新庄最上地域の自治体や農家との連携などについて話し合わせ、町として学生の在学中の実習や卒業後の就農に向けた新たな取り組みを行なっていくための意見などがありました。

また、委員会からは教職員と学生向けのイベントや交流施設などについて感謝が述べられました。

リーダーより かもしか修了証



2月25日、ほほえみ保育園で、年長児を対象にかもしかクラブ修了式が行われました。

小学校での学びを胸に



3月18日、舟形小学校で卒業証書授与式が行われ、32名の児童が学び舎を巣立っていきました。

大船渡市大崎町林野火災募金 能登半島地震被災地支援募金

町では、大船渡市大崎町林野火災および能登地方を震源とする地震で被災された方々を支援するため、募金を受付しています。集まった募金は、日本赤十字社を通じて被災地に届けられます。なお、募金額の経過については、来月号以降にお知らせします。

▼問い合わせ／舟形町総務課総務係 ☎(32) 2111 (内線231)